

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	合同会社 福祉経営情報サービス
所 在 地	東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5階
評価実施期間	2025年7月4日～ 2025年10月6日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	アートチャイルドケア船橋くれよん保育園 アートチャイルドケアフナバシクレヨンホイクエン		
所 在 地	〒274-0060 千葉県船橋市坪井東2丁目13-27		
交通手段	東葉高速鉄道 船橋日大前駅より 徒歩4分		
電 話	047-460-9926	F A X	047-460-9928
ホームページ	https://www.the0123child.com		
経 営 法 人	アートチャイルド株式会社		
開設年月日	2023年10月1日		
併設しているサービス	保育		

(2) サービス内容

対象地域	千葉県船橋市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
		10	10	13	13	14	60		
敷地面積	354.97㎡			保育面積		143.64㎡			
保育内容	延長保育		障害児保育						
	有		無						
健康管理	検温、健康観察、毎月の身体測定、年2回内科検診、年1回歯科検診								
食 事	自園調理による給食（土曜日はお弁当持参）								
利用時間	7：00～19：00（土曜日は7：00～18：00）								
休 日	日曜日・祝日・年末年始（12/29-1/3）								
地域との交流	地域の福祉祭り参加・デイサービス訪問								
保護者会活動	保護者会はなし。年2回の運営委員会（全学年中2名選出）								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	10	5	15	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	10	0	2	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	1	2	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	必要書類一式を船橋市保育入園課に郵送または窓口へ提出	
申請窓口開設時間	月曜日～金曜日 9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）	
申請時注意事項	保育所の受け入れ可能年齢、アレルギー等健康や発達に心配のある児童の可能受入れ施設か確認をしてから申し込みをすること	
サービス決定までの時間	利用希望月の2ヵ月前に申込み、前月の10日前後に決定	
入所相談	疾病・障害・発達面に心配のある児童は保育運営課へ連絡	
利用代金	お子様の年齢、保育必要量や世帯の市税額により船橋市が算定	
食事代金	月額4800円	
苦情対応	窓口設置	受付：主任古川、解決責任者：本社関・園長津田
	第三者委員の設置	頭島潔・世利智子

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>企業理念 We care for ～ケアをまんやかに～</p> <p>保育理念 ～「自分らしく」生きていくことのできる子どもを～</p> <p>保育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠と生活リズムを整える ・一人一人の個性と成長に応じた保育 ・子どもの失敗を受け止める保育
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念に基づき子ども主体の保育を心がけている ・地域との関わりを大切にしている。野菜の苗を買いに行ったり、デイサービス訪問を行っている
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児クラス以上は専門の指導員による体操のレッスンを月に2回受けて経験を増やしています。（レッスン料はなし） ・お昼寝布団はレンタル（レンタル料はなし、シーツなどの持参なし）、保護者様のご負担を減らしています。 <p>保育園ITCシステム「コドモン」を利用してしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園からのお知らせ配信（緊急時配信含む）等。 ・保護者様からの欠席や遅刻の連絡、その他の連絡が可能。

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
<p>あたたかな雰囲気のある園では、子どもたちがいきいきと表現し、のびのびと生活することができている</p> <p>玄関入口横の靴箱の上には、手作りの金魚のオブジェや手描きの金魚の絵が飾られていて、夏の季節感をとても上手に演出している。子どもや保護者の心を和ませるような手作りの作品により、園の温かい雰囲気が醸し出されている。</p> <p>現地視察では、例えば、給食前の絵本の読み聞かせでは、各クラスの職員の読み方や表情がとてもあたたかく、心を込めて実施されている様子が見られ、それが子どもたちにも伝わり、1人ひとりにとっても幸せな表情が生まれていた。また、製作では、絵の具の筆遣いやクレヨンの線の引きかたも生き生きとしており、各児が自由にのびのびと作品作りを行った様子が伝わってきた。職員各自は、子どもに伝えたいことを理由も添えてしっかり伝えており、それらの取り組みにより、安心・安全な環境がつけられ、その中で1歳児クラスから5歳児クラスまで、各クラスの子どもたちが伸び伸びと生活することができている。</p>
生活の中で子どもたちが主体的に活動できるよう、環境設定の工夫がされている
<p>散歩中に見つけた草花や虫、生物について、園に戻ってから自分たちで興味のあるものを図鑑で調べることができるような環境設定や声掛けをおこなっている。また、保育室ではメダカやヤドカリ、かたつむりが飼育されている。飼育し、生き物のエサを子どもたちが調べて探しに行くなど、主体的にさまざまな活動ができるよう援助しており、視察時は子どもたちが生き物にとっても興味や関心をもって、生き生きと話している姿が印象的だった。テラスでは3歳児から5歳児の3クラスでそれぞれ好きな苗を何種類か選んで野菜を育てており、水遣りは各クラスが当番を決めておこなうなど、日常の保育の中で、子どもたちが主体的に関われるようにしている。</p>
園の活動や取り組みについて、工夫をして保護者にわかりやすく伝えている
<p>保護者に伝える情報がわかりやすく示されている。例えば、職員の個性を尊重することや働きやすい職場環境づくりの一環である髪色の自由化については、「髪色自由化 自分らしく働ける」というポスターに加え、保護者に向けた書面での説明が掲示されており、園の考え方と伝えるとともに、誤解等が生じないよう配慮がされている。また、自由画の作品展示では、「指先をよく使い、器用さを促します」と、巧緻性を高めるといふ「ねらい」が、保護者にわかりやすく伝えられている。作品のねらいや子どもが経験したことを丁寧に伝えることで、保護者も製作の過程や子どもの成長過程をより深く知ることができる取り組みであり、保護者の安心と信頼にも繋がっているものと推察された。</p>
職員個々のチャレンジを推奨しており、保育実践の中に職員の創意・工夫がみられる
<p>令和6年度には安全確保の上で雨の日散歩を実施したなど、新しい事やチャレンジをすることを推奨しており、職員の創意・工夫を尊重して各クラスの運営がされている。また、なにかあれば伝え合い、必要に応じてその都度話し合いを持っており、職員の意見を引き出し、尊重して改善・向上に努めている。現場視察では子どもが伸び伸びと過ごすための環境設定や保護者向けの情報提供・案内等に職員の創意工夫が随所に見られた。</p>
現場の声を反映するための委員会を本部に設置し、働きやすい職場環境づくりを積極的に推進している
<p>「日本一働きやすい会社」を目指し、「ベストパートナー委員会」を法人本部に設置している。ベストパートナー委員会は現場の声を実現する目的で設置されており、独自の休暇制度のほか、本社担当者の巡回相談や本社相談窓口を設置して対応する体制があるなど、法人として職場環境の向上に力を入れ、働きやすい職場環境づくりを積極的に推進している。今後も職員の声を聴き、改善に向けた継続的かつ発展的な取り組みが期待できる。</p>

さらに取り組みが望まれるところ

ビジョンの実現に向け、推進するための体制を整備していくことを期待したい

新人研修や園長会議などの場、保育の現場で社長からのメッセージが伝えられるなど、理念の周知・浸透が図られており、園としても、職員皆が働きやすい風土の醸成および子どもとの関わりや保育の基本事項の浸透に注力し、丁寧な取り組みが実施されている。保育については、園内研修の中で保育理念に沿った研修を行い、グループワークを取り入れて職員間でディスカッションを重ねることで、理念の浸透と現場での実践力向上を図っている。今後は中長期的な視点持ちブレない運営をするための仕組みとしての中長期計画や、それを踏まえた事業計画を策定するなど、体制を整えることもおこない、園としての在りたい姿に向け推進力を高めていくことを期待したい。

キャリアパスを人材育成に、より一層活用していくことを勧めたい

キャリアパスが策定されているが、職員への周知が十分されていないため、周知するとともに、個々の職員がモチベーションや将来的な仕事の展望を得られるよう理解を促す取り組みを期待したい。また、園としても職員個々の現状をキャリアパスに照らすことで、中長期的な人材育成の視点を一層明確にして活用していくことを期待したい。

今後、地域における子育て支援活動が開始されることを期待する

在園児と地域との交流があり、その交流をさらに広げることに取り組んでいるところである。地域の子育て家庭に向けた支援に関しては、今後園として事業展開していくための具体案を持ち、意欲的に検討している状況である。地域において子育ての輪を広げることや、子育ての悩みに応えること、未就園児と在園児、およびその保護者の交流が行われることは大変有意義な取り組みであり、地域における今後の子育て支援活動の展開に大いに期待したい。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

先生達のあたたかさが伝わり、アットホームな保育園で子どもが「自分らしく」伸び伸びと過ごしていると評価を頂き、大変嬉しく思います。

第三者評価を実施することによって職員の日ごろの保育や、子どもたちへの関わりがとても良い取り組みだということにあらためて気付き、自信につながる良い機会だったと思います。

また、課題につきましては中期的な視点を持ち、人材育成に取り組めるよう周知の方法を含めて今後、取り組んで参ります。

近年では、地域との交流を増やしている所ですが更に広げて、在園児を大切にしつつ地域単位で子育てが出来るように、地域に愛されるような保育園にしたいと思います。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目			
				☑実施数	☐未実施数		
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0	
				2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0	
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	2	
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0	
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0	
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0	
				職員の質の向上への体制整備	7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0
					8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0
					9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0
		II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3
11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4					0	
利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。					4	0
2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み			13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	
				14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0	
3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始			15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0	
				16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0	
4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0	
				18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0	
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0	
				項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0
					21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		
					22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
		23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0			
		24 身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	4	0			
		25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0			
		26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0			
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	0					
28 家庭との連携が十分図られている。	3	0					
29 地域社会との連携が十分図られている。	3	0					
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0					
子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0				
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0				
	食育の推進	33 食育の推進に努めている。	5	0			

II	適切な ビジネスの 福祉 実 施 サ ー	5	安全管理	環境と衛生	34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0
				事故対策	35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0
				災害対策	36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0
		6	地域	地域子育て支援	37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	2	3
計							151	5

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>事務室には3か年の経営方針が掲示されている。また、月に一度開催している園内研修の中で保育理念の内容を検討する機会を持っている。令和7年度は関連するグループワークを3回実施し、話し合いや振り返りを行う予定がある。新人職員については、入社時に本部が実施する就業オリエンテーション研修の中で理念や基本方針を学ぶ機会が設けられている。また、毎月開催している施設長会(園長会)では社長講話や役員からのメッセージが伝えられており、職員向けには参加した園長から伝達が行われているほか、社長が不定期に園に訪問して直接職員に会社が目指していることを伝えている。企業理念の理解および保育理念の実現については園としてもその浸透に注力して取り組んでいる。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>重要事項説明書の冒頭には理念や園目標などが記載されており、入園時に説明するとともに、玄関にも常時設置している。また、見学案内を使用するパンフレット等にも同様に記載して保護者や入園希望者への周知がされている。理念に基づく日頃の保育実践については、その日の活動報告(ホワイトボード)や写真、園だより、送迎時の会話等で保護者に伝えられている。また、理念については研修等において職員にも周知がされているため、職員からも理念に沿った実践について保護者に伝えており、例えば、食育の取り組みを説明する際に「生きる力を養う」という保育の意図等を併せて伝えていくことを意識して実践している。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
	<input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>本部で中長期計画を策定しており、社内で行われる園長会議などの機会に方針が園に伝えられ、方針に沿って園の年度事業計画を立てている。園長会議の内容については園長が議事録を確認し、職員会議等の場で報告をして会社としての経営・運営方針を周知している。園運営全般については、年度末に園の自己評価を実施している。また、職員会議において安全計画や保健計画等の振り返りを行っている。これらの振り返りに基づき、子どもの安全や保護者の安心に向けた改善が実施されており、特に運営移管後の施設整備や改修などハード面については、本社の設備担当者と協議して進め、課題解決に注力しているところである。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園内研修を毎月開催している。令和6年度は園内研修の中で保育理念に沿った研修を行い、写真をみながらディスカッションをしてその内容を共有した。今年度は内容をより深めるべく、グループ毎に項目を決め、職員間でディスカッションを重ねることで理念の浸透を図っている。園運営や保育実施面について、職員から意見がある場合は、問題を先送りにせず対応することになっている。職員からは園長・主任に直接相談があり、何かある場合は伝え合い、必要に応じてその都度話し合いを持っている。保育実施面については、各クラスの個性を尊重してクラス運営をしてもらっている。行事の企画などについても前年度の踏襲ではなく職員のチャレンジを推奨しており、例えば、令和6年度には、安全確保の上で「雨の日散歩」を実施した等、職員の創意・工夫を尊重して内容の充実化を図っている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>アートチャイルドケアとして法人統一のマニュアルが整備されている。各種マニュアルはファイリングされており、規則・規程ファイルも作成されている。ファイルは事務所に保管し、職員がいつでも確認できるようにしている。法令遵守と倫理に関する研修については、個人情報保護と守秘義務、人権に関わる研修を毎年園内で実施している。園内研修のほか、法人研修と職員が選んで受講する法人の選択式研修があり、虐待防止などは上記の研修体系に組み込まれている。個人情報保護については入社時に就業オリエンテーションで周知するとともに、職員各自から機密保持誓約を得ている。</p>	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育業務にICTを導入して業務効率化が図られている。働きやすい職場づくりに向けた取り組みとしては、「日本一働きやすい会社」を目指し、現場の声を実現するための「ベストパートナー委員会」を本部に設置している。また、職員の相談事は園内の定期面談や本社担当者の巡回時に相談ができるほか、メンタル面等についてはフリーダイヤルの本社相談窓口を設置して対応する体制がある。有給休暇の取得状況については園と法人の人事総務部門でチェックして消化を奨励している。また、入社直後から用途を限定せずに使用できる有給休暇が2日付与されている。そのほか、小学校6年生までの子どもの看護休暇を時間単位で取得できたり、介護のための休暇を時間単位で取得できる等、独自の有給休暇や短時勤務を設定して働きやすい職場環境づくりを積極的に推進している。</p>		
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員の役割と権限については職務分掌が作成されており、各役職の職務内容と担当業務が示されている。また、園内では行事の担当、各会議の担当までを明確にして園運営をしている。そのほか、キャリアパスにおいて職位毎に職責と職務内容が明示されているが、この点については園内での周知が不十分である。人事考課制度を整備し、年2回、面談の上人事考課を実施しており、評価を行うとともに個人の目標設定をして業務スキルの向上に繋げている。人事考課結果は本人に周知している。また、新任園長は人事考課研修を受講し、評価基準に基づき評価して制度の透明性と公平性を確保している。</p>		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>採用に関しては、本社採用戦略室が採用戦略および年間計画を立案して毎月の会議で検討している。園としては、各自治体や民間企業が主催する就職フェアに参加し、パンフレットや園の様子をファイルにまとめ、園長が園の紹介をしている。今後の出展では、職員も参加する予定がある等、精力的に採用活動に取り組んでいる。</p>		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>中長期の人材育成計画は法人の人事総務部が担当して策定されている。キャリアパスと人事考課により能力基準を明確にして評価を実施し、研修体系を整えて人材育成が図られている。法人研修は年間計画表に基づき実施されており、施設長研修、2番手職員向けの研修、主任勉強会、メンター向けのメンター研修等、職位別の育成に取り組むほか、職員が選択して受講する研修は多岐にわたるテーマが網羅されている。そのほか、申込制の研修では、希望する系列の保育園に入り情報交換をするベンチマークラーニングなどもあり、園長だけでなく希望者が参加できる等、充実した研修体制となっている。毎月の園内研修は、安全、わらべ歌、理念、個人情報保護、人権、感染症、食中毒、食育等のテーマで実施されている。OJTについてはOJTシートなどの書類を整備し、仕組みに基づき実施されている。</p>		

10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)		
「子どもの人権を考える」というテーマの研修を毎年の園内研修計画に組み込み、内容を毎回更新して年1回実施しており、虐待事例等についてグループワークもおこなって学び合っている。また、人権擁護の指導を職員全員が受けており、プライバシー保護、虐待防止、人権擁護について職員から誓約書を得ている。そのほか、不適切保育に関するチェックリストを9月と3月に実施し、子どもの権利を守り個人の意思を尊重した保育の徹底に取り組んでいる。		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)		
アートチャイルドケアのプライバシーポリシーをウェブページに詳しく掲載するとともに、玄関ホールに掲示して周知をしている。プライバシーポリシーには個人情報の利用目的や第三者への情報提供等に関して記載がされており、入園時に保護者に説明するとともに内容について同意書に署名を得ている。職員には入職時に説明し、また、毎年、「個人情報と守秘義務」の園内研修を実施して周知がされている。		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)		
満足度アンケート(CSアンケート)を毎年実施している。実施後は系列園全体と自園の集計結果を確認し、指摘があった事項や問題点について協議して改善に活かしている。得られた意見のうち、設備や施設環境については本社が担当しており、法人全体で情報を共有し対応がされている。アンケート結果と対応については掲示して保護者への周知・報告がされている。保護者が要望を伝える機会としては、そのほかに個別の連絡帳や本社が設置しているお客様相談室があり、同相談室の連絡先についてはフリーダイヤルを玄関に掲示して周知がされている。また、時期を定め、希望者に対して個人面談を実施している。大部分の保護者が面談を希望するとのことであり、これも要望を伝える機会となっている。面談は面談時期以外や時間外であっても対応できることを保護者に伝えており、要望や苦情の伝えやすさに配慮している。		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)		
苦情解決規程があり、苦情解決第三者委員会が設置されている。苦情解決の仕組みについては重要事項説明書に記載して、入園時に保護者への説明をおこなっているほか、掲示により周知がされている。苦情があったときは、内容によって園から本社に苦情報告書により報告がされ、全社で共有し対応がされている。また、寄せられた苦情や要望についてはウェブページで公表しているほか、定期的に開催している運営委員会においても報告がされている。苦情対応については、危機管理マニュアルの中に苦情発生時の対応をフローチャートで示して職員への周知がされている。苦情が発生したときは記録に残し、検証を行い再発防止に努めるとともに、保護者に説明し今後の対応策を伝えることが仕組み化されている。		
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)		
職員の自己評価を毎月実施し、園の自己評価を年度末に実施している。年度末の自己評価では全職員が自己評価をおこない、各自がおこなった段階評価を集計し、その内容を踏まえて園として年度を振り返って今後の課題を抽出している。新年度に向けて解決策と対応方法を検討し、内容に応じて園全体または担当ごとに具体的な行動を検討して次年度に実行し業務の質の向上に繋げている。園の自己評価についてはウェブページで公表されている。		
15	提供する教育及び保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的の実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)		
保育、危機管理、不審者対応、保健、感染症、BCP、給食、除去食等、アートチャイルドケア全社で統一したマニュアルが整備されており、園の状況に合わせて一部修正、加筆するなどして、園内における業務の基本や手順を明確にしている。マニュアルの見直しについては、毎年、本部の保育研修部が現場職員の声を聴き、意見をまとめて見直しが行われており、更新の仕組みが法人として整備されている。マニュアルの活用については、例えば、緊急時対応については年に1回、園内研修をおこない、通報訓練、救急救命、プールあそび等で、マニュアルに沿った確認を実施している。		

16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>ウェブページには、問い合わせ先としてお客様相談室の電話番号が記載されているほか、保育に関する問い合わせを受け付けるメールフォームが設置されている。上記連絡先に入園に関する問い合わせがあったときは、本社から園と園を担当するマネージャーに伝えられて対応がされる。また、園に直接申し込みがあった時は希望の日時に応じて見学案内をしている。案内時は、パンフレットを用いて一組ずつ、園児と保育者の関わりや活動の様子を見てもらっている。また、入園までの流れや、延長保育時の料金は30分単位であること、土曜保育のこと、布団はリースであることやおむつは園で処理すること等、保護者の負担について説明するとともに、行事のことや1,2歳は生活をメインにしていること等、保育に関する園の特徴を紹介し、保護者からの質問に応じている。</p>			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
<p>(評価コメント)</p> <p>4月入園の場合は、3月に入園説明会をおこない、「重要事項説明書兼しおり」を配布して詳細な説明をしている。説明の際は、例えば、持ち物については、見やすい大きさの文字を使用した表を用いて説明しているなど、わかりやすさへの工夫がされている。また、アレルギーについては、食材等について詳しく記載して保護者への周知がされている。入園前には個別面談を実施している。アレルギー児に関しては別途アレルギー面談を実施しており、面談内容について詳しく記録がされている。4月以降の入園児については適宜個別面談を行い、同様の対応がされている。入園時の保護者の意向は、個人ファイルに記録し適切に保管している。保護者からは、入園時に写真の取り扱い及び個人情報保護に関する事項を含む重要事項について同意を得ている。</p>			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育の全体的な計画は、保育理念や保育目標に基づき人権尊重や情報保護等を考慮して作成されている。園として子どもの主体性を大切にすることを基に作成されており、5領域、養護・教育を含めた年齢ごとの発達について考慮し、子ども一人ひとりの家庭環境、地域や小学校との連携も踏まえた内容となっている。全体計画は、全職員が参加する全体会議において十分話し合っておこない作成されている。</p>			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全体計画に基づき、年間指導計画、月間指導計画(月案)、週間指導計画(週日案)を作成している。発達段階に応じた支援を行うため、3歳児未満は毎月、3歳児以上においても年4回、個別計画を作成して個々の成長を把握している。調査時点では、特別な配慮が必要な子どもは在籍していないが、発達の気になる幼児に関しては状況に応じた支援内容を個別計画に記載している。保育の具体的なねらいや内容については月案において作成し、これらを達成するための適切な環境構成については年間計画により明確にしている。保育現場では、月案に沿って、例えば、発達に応じた指先の巧緻性を育む自由画制作などが行われている。計画のPDCAについては、今年度から、週日案に反省点を記載する項目を設けて、日々の保育の振り返りと改善を行い、保育の質の向上に努めている。</p>			

20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
(評価コメント)			
1歳児から、一人ひとりの興味や関心に合わせた様々な種類や素材の玩具を用意するなど、保育環境への配慮をおこなっており、主体的に遊びを選択し、安全に、自分で玩具を取り出して遊べるよう環境設定がされている。 特に廃材遊びに力を入れており、例えば、4段式の棚にお花紙やシールなど様々なものを準備するなど、こどもが廃材制作を行う際に自由に取 り出して遊べるよう工夫がされている。ソフト面の保育環境としては、子どもの様子を見ながら、遊びに夢中になっている時には時間を延長して、 こどもが遊びを発展させられるような声掛けを行い、伸び伸びと自由に遊べるような働き掛けがされている。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
【非該当】0歳児の受入れはおこなっていない。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
生活習慣の支援では、例えば、自分で靴下を履こうとしているが裏表になっている場合は、あえて保育者が直すことはせず見守る姿勢をとるなど、「自分で」という気持ちを尊重する保育が行われている。また、トイレの壁には動物のイラストなどを貼り、トレーニング中のこどもがトイレに行くことが楽しくなるような工夫がされている。 まだ自分の気持ちをうまく表現することが難しい月齢の子どもたちのトラブルにおいては、保育者が双方の気持ちを代弁することで、子どもたちがお互いの気持ちに気づけるような関わりができるよう配慮している。 子ども一人ひとりの成育歴や罹患歴などは職員会議で共有し、職員室に掲示することで、安全に配慮した保育が行えるよう配慮している。また、保護者との日々のやり取りについては視診表に記録して職員で共有したり、保護者からの相談があった場合は、必要であれば個別面談を行い、保護者への支援に努めている。これは3歳以上児についても同様である。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
給食は、こどもが自分で食べられる量を自己申告して、それを完食することで達成感を味わえるよう配慮をしている。5歳児クラスの給食では、配膳の際、各自がトレーを持って配膳テーブルに並ぶ形式にしており、小学校と同様の形式にすることで、子どもたちが就学を楽しみに行動できるような配慮がされている。 子どもたちがアイデアを出し合って遊びを展開できるよう、自由に形を変えられる段ボールの仕切りを準備したり、使いたい材料を自由に選んで遊べるよう廃材置き場を作るなど、こどもが主体的に遊びこめるような環境づくりがされている。また、散歩中に見つけた草花や虫、生物について、園に戻ってから子どもたちの興味に沿って図鑑で調べることができるようにしており、興味や関心を持ったことを発展させることができる環境設定や声掛けをおこなっている。			
24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
保育室ではメダカやヤドカリなどが飼育されており、水槽を囲みながら生き生きとした表情をしている子どもたちの姿が見られた。また、生き物のエサを子どもたちが図鑑を使って調べて探しに行くなど、興味を持ったことを次の遊びにつなげる活動ができるような援助が行われている。 秋には公園で木の実を拾い、園に持ち帰って遊びを展開しながら楽しんでいる。昨年度は、年長児が「木の実を置く棚があると便利だ」と話し合い、そのアイデアを卒業制作として実現させた。子どもたちのアイデアが形として残せるような活動の援助をおこなっている。 地域の人達との交流では、高齢者デイサービスを訪問して、伝承遊びをしたり、ダンスを披露したりする機会を作り、地域の人達との関わりを楽しみ、お年寄りを大切に育んでいる。 卒園遠足では、目的地まで電車を使い、券売機で切符を購入したり、自動改札機に切符を通したりする体験を通して、自分で行動する楽しさを味わった。また、公共交通機関の利用方法やルールを学ぶ体験を通して、子どもたちが社会の仕組みに興味を持てるような援助をおこなっている。			

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>噛みつき傾向がある子どもに対しては、トラブルが予想される場面で他の子どもと少し距離を置くよう見守るなど、環境の配慮をしている。また、子ども同士の関わりの中で意思疎通が難しくトラブルが発生した場面では、子どもの気持ちを保育者が代弁して相手に伝え、お互いの気持ちに気づくよう援助している。</p> <p>社会的ルールの支援では、例えば、散歩時は「並んで歩く、信号は赤で止まる」などの声掛けを行い、日常的に社会的ルールや交通ルールを理解して行動できるようにしている。</p> <p>生活の中で役割では、お当番を作って仕事を任せる、盆踊り大会に向けて年長児が1,2歳児に踊りを教えに行くなど、役割を任されることで責任感が生まれるような取組みが行われている。また、例えば、野菜の栽培では、子どもたちがクラス毎に話し合い育てたい苗を提案したり、当番を決めて水を撒きに行ったりするなど、クラスで協力して活動できるよう援助している。</p> <p>異年齢のかかわりとしては、年長クラスが1,2歳児クラスへ行きお話をし、手をつないで散歩に行く、など年下の子どもを思いやる気持ちや年上を慕う気持ちが生まれるような環境設定がされている。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>子ども同士の関わりにおいて、まだ言葉がうまく出でず、誰にでも手を出してしまう子どもに対しては、保育者が気持ちを代弁するなどして、友達との関わり方に配慮している。</p> <p>特別な配慮が必要な子どもの保育に関しては、個別記入シートとマニュアルを準備しており、職員会議で方針を話し合い共有し、体制を整えている。また、発達に気になる子どもの保護者とは個人面談を行い、情報を共有して支援につなげるなど、保護者との関わりを大切にしている。</p> <p>現在、特別な配慮が必要な子どもは在籍していないが、発達の気になる子どもについては、法人の事業である「アートチャイルドケア SED SCHOOL」と連携して相談をおこなっており、保護者が安心して子育てができるような取組みがされている。また、今後の保育に向けて、キャリアアップ研修の中で障害児に関する保育について学び、受け入れ態勢を整えている。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>早朝保育、延長保育の担当はシフト制となっており、引継ぎを担当者間の口頭伝達と視診表の確認によりおこなっており、子どもの状況を共有している。保護者への伝達事項は視診表に記載され、その時間の担当職員が正確に伝達できるよう体制を整えている。</p> <p>早朝、延長時間の職員に対しては、それぞれの時間帯に子どもが安全、安心に過ごせるためのポイントを伝えている。また、環境面では、異年齢の子どもが一緒にいるときは、誤飲などが起こらないよう玩具の大きさを選ぶなど、安全面に配慮するとともに、疲れている子どもが身体を休められるよう、布団やマットを敷いた休息コーナーを設けるなど、落ち着いた環境づくりがされている。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>降園時に子どもの園での様子を保護者に直接伝えるほか、保育室の入口にその日のクラスの活動や様子などを細かく記載したボードを掲示して情報を共有するなどの工夫がされている。</p> <p>保護者からの希望があれば個別面談を実施する、保育参観を1,2歳児は年2回、3歳児以上は年1回実施するなど、子どもの様子を家庭と園で共有して園への理解を深めてもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>個人面談の内容は個別記録票に記録し、園長または主任に報告され、園全体での情報共有が行われている。また、外国籍の家庭には、伝達事項などが正確に伝わるように分かりやすい日本語を使用するなどの配慮がされている。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>デイサービスへの訪問、地域のお祭りへの参加、広域避難場所である近隣の中学校の敷地を借りて避難訓練を行うなど、積極的に地域との交流と連携を図り、子どもたちが様々な人との関わりの中で社会性が育まれるような援助をおこなっている。</p> <p>コロナの影響により昨年度の小学校訪問は実施されなかったが、今年度は実施に向けて協議を進めている。そのほか、幼保連携による地区研修会で職員間の交流があり、就学に関する情報共有が行われ、小学校との連携を強化する取組みがおこなわれている。また、5歳児クラスの担任から就学先の小学校へ指導要録を送付する際には、子どもや保護者の様子を伝えて小学校へのスムーズな移行を支援している。</p>		

30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
虐待対応マニュアルがあり、登園の受け入れ時に視診を行い、家庭でのケガがあった場合の傷も保護者からの情報提供を依頼して、虐待の兆候に気づけるよう保育をおこなっている。 虐待時のフローチャートが提示されており、子どもの様子や行動などは些細なことでも常に職員間で共有して、早期発見・早期対応に努めている。家庭での虐待が認められた場合は、速やかに本社への報告、児童相談所への通告を行う体制が整っている。			
31	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
年間保健計画を立て、年1回の歯科検診、年2回の健康診断を実施して、子どもの健康状態を把握している。嘱託医が園と隣接しており、対応がしやすい環境がある。また近隣の医療機関(整形外科や内科、小児科等)を一覧表にして、休診日や電話番号が一目で確認できるような情報を可視化するなどの工夫がされている。 プールカード、予防接種記録カードで家庭での子どもの情報を共有し、健康状態を把握して事故防止に努めている。また、日課表にクラス担任が子どもの日々の生活や、園と保護者間の伝達事項を記録して職員間で情報共有している。 SIDS対策として、午睡チェック表を記入し子どもの呼吸や体位を定期的に確認して事故防止に努めている。また、SIDS対策の一環として、午睡時間中に連絡帳の記入は行わないということ、入園時の重要事項説明書に記載して保護者の同意を得ている。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症発生時の感染拡大防止と迅速な対応のために、BCPが策定されている。マニュアルに沿って動けるよう全職員に周知して、フローチャートを各保育室に掲示するなど、いざという時にスムーズに動けるよう体制を整えている。 近隣の整形外科や内科、小児科等の一覧表を作成して、嘱託医や近隣の医院へすぐに連絡できるような体制や、必要に応じて管轄保健所に届け出る体制を整えている。 感染症が発生した場合は、その旨を玄関に掲示して保護者に周知しており、発熱があった子どもの保護者には、お迎え時に「現在、感染症が発生している」と伝えて受診を勧め、感染予防の協力を求めている。 発熱など体調不良時に子どもが安静に過ごせるよう、1階の事務所内に医務室としてのスペースを設けて救急用品を整備するなど、体制を整えている。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
月1回、園長と調理職員で給食会議を開催し、調理職員が作成した食育計画書を保育計画に組み込み、月齢に合わせた食育活動を行うことで食べることの大切さや楽しさを伝えている。また、残量チェック表を基に、担任と調理担当者で子どもたちが食べやすい食材の形態や味付けなどを話し合い改善に努めている。 食育活動の中で、調理職員が「食材を作る人、運ぶ人、調理する人など、様々な人が関わっておいしいご飯ができる」ことを子どもたちに伝え、「いただきます、ごちそうさま」の意味を知り、感謝の気持ちを育めるような取り組みをおこなっている。 保護者に、生活管理指導票を年に1度提出してもらい、アレルギー緊急時個別対応票を作成して万が一の事態に備えている。 アレルギー児対応は、保護者と個別面談を行う、保護者に次月のメニュー表を確認してもらい、毎朝、担任と調理担当が細かく除去食チェックリストを確認するなどして、各クラスに掲示しているマニュアルに従い提供方法を徹底して事故防止に努めている。 給食は楽しく食べることに重点を置いている。4、5歳児の保育室にはひらがなの献立表を準備して自分たちでメニューが確認できるようにしたり、行事食など見て楽しめるような給食を提供したりなど、食事への興味関心を持てるよう工夫がされている。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
エアコンのクリーニングや台数増設などで空調整備を行い、適切な環境を維持するよう努めている。午睡中は子どもの健康状態を把握するため、照明を顔色が確認できる明るさに調整するなどの配慮をおこなっている。 調理スタッフや調理場は衛生的であることを示すために、調理室の横には調理スタッフ専用のトイレを設置する、調理室の入り口ドアには「入らないでね」「トイレにいったらてをあらおうね」と書かれたイラスト付きの掲示物を貼るなどの工夫がされている。 保育室前は、帽子や靴下入れが置いてあり、子どもが主体的に整理整頓できる環境設定を行っている。視察時はトイレ内のスリッパを子どもたちが自分で横一列に並べられるよう、ビニールテープで仕切りを貼るなどの工夫がされていた。			

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>けがや行方不明、不審者侵入が発生したときの対応や、食中毒や嘔吐処理、救急要請、心肺蘇生など緊急時の対応については、各保育室にフローチャートを掲示するとともに、毎年一回必ず緊急時対応についての動きの確認をして職員各自がいつでも対応できるようにしている。設備や遊具などの安全点検は始業時と終業時にチェックシートを用いて実施されている。公園の安全確認では、公園までの道のりと公園のハザードマップを作成している。ハザードマップにはAEDや公衆電話の場所等も書き加えられており、園外保育時のリスクを想定した対応がされている。</p> <p>事故予防ではヒヤリハットを収集し、毎月集計して本社に提出しており、起きたヒヤリハットと対応をクラスごとに記録し、重大なヒヤリハットについては、検証して対策を立て職員への周知がされている。不審者対応についてはマニュアルを整備し、対応訓練を年に2回実施している。</p>		
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>安全計画および事業継続計画(BCP)が策定されており、毎年、年度末の自己評価において職員の意見を聞き、それを取り入れて反映している。防災訓練は年間の計画に基づき、毎月避難訓練と消火訓練をおこなっている。避難訓練では、例えば、水遊び中の発生等、場所や時間帯を想定して実施し、実施後にはクラスごとに反省をして内容を振り返り、避難方法などについて対策をしている。また、消防署の立ち合いによる訓練も行い、その際は消防車を子どもたちが見学して、防災について子どもの関心を高めることにもつなげている。</p> <p>毎年、9月には保護者への引き渡し訓練を実施している。災害発生時の家庭との連絡網については保護者向けアプリを活用しており、引き渡し訓練ではそれとは別に171を確認して引き取る訓練をおこなって、複数の連絡手段が利用できるよう準備をしている。職員についてはBCPにおいて参集リストが作成されており、また、連絡網を毎年更新して災害発生に備えている。</p>		
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input type="checkbox"/> 地域の子育てニーズを把握している。 <input type="checkbox"/> 子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。 <input type="checkbox"/> 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援に関する情報を提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>地域の子育て支援、子育て家庭への園の施設開放に関しては、今後検討していく予定である。</p> <p>現在、子育ての輪を広げるための子育て広場の提供を検討している。子育てで悩んでいる未就園児の保護者のために、園の施設を開放して情報交換の場を提供、在園児の保護者からのリサイクル品(洋服、玩具など)の提供などを行うことを意欲的に検討している。</p> <p>地域の習い事や子育て相談などのパンフレットを置き、卒園児が所属する野球、サッカーなどのクラブ体験教室のお知らせを掲示して、卒園後のクラブ情報を在園児に提供するなど、就学後の小学校生活のことも考慮して地域情報の共有をおこなっている。</p> <p>デイサービスの訪問、地域のお祭り参加、近隣スーパーへの買い物などを通じて、子どもと地域の人々との交流を広げる働きかけをおこなっている。</p> <p>また、近隣の不動産会社から、七夕の竹をもらっている。お礼として子どもたちが折った折り紙とメッセージを添えて贈るなどの交流も行い、感謝の気持ちを育てるにも取り組んでいる。</p>		